

第6学年 音楽科学習指導案

日時 平成30年6月6日(水) 5校時
学級 第6学年1組 36名
指導者 金田 美奈子

- 1 題材名 「せんりつを組み合わせる声のひびき合いを楽しもう」
- 2 題材の目標 演奏形態の違いによる響きの違いを感じ取り、旋律の特徴を生かした組合せを工夫してグループアンサンブルをつくる。
〔共通事項〕 ア (7)音の重なり (4)音楽の縦と横との関係

3 児童の実態と題材設定の理由

第6学年の児童は、入学当初から、体を動かす活動を通して〔共通事項〕を知覚・感受することを基盤とした音楽学習を積み重ねてきた。中学年以降は、体を動かす活動で知覚・感受したことを言葉に置き換える活動を設定し、音楽用語を使って音楽について説明できる能力も育成している。このことにより「箏はこういう音色だと思っていたけれど、今回学習して演奏の仕方によってこのような音色も出るということが分かった。」等、学んだことを言葉で整理することで知識の再構成がなされるようになってきている。また、〔共通事項〕を精選した題材構成になるよう工夫した小さい題材による音楽学習を積み重ねてきたことで、児童が既習の知識や技能を活用して自分の思いや意図をもって表現を工夫する場が増えてきている。

歌唱では、斉唱の他に、パートナーソングやカノンで音の重なりを知覚・感受し音が重なり合うことによる効果について学習を積んできている。昨年度は「ハロー・シャイニングブルー」や連合音楽会で合唱曲を歌う経験を通して音を重ねて歌うことの楽しさを感じ始めており、学習の導入で一人一人が声でリレーをする常時活動にも抵抗感なく意欲的に取り組んでいる。

今回の題材では、歌唱教材として「ロック マイ ソウル」を教材として取り上げる。昨年度は、我が国の音楽を取り上げ、「会津磐梯山」「音戸の舟歌」「物売りの声」「相撲の呼び出し」の学習の後、「かごまちぶし」をつくる活動を設定した。この学習を通して「私たちの身近にあるものをふしにのせて歌うのが面白かった。」「難しいと思ったけれど、やってみたら自然にうたえてできた。」などという感想をもつ児童が多くいた。このような記述から、自分の身の回りの生活と音楽との関わりについて児童が音楽づくりや鑑賞の学習を通して考えたことが分かる。

そこで、今回は世界の音楽のスピリチュアルについて調べたり映像を見たり演奏を聴いたりしながら理解を深め、それらを踏まえて「ロック マイ ソウル」の3種類の旋律を組み合わせるグループの作品をつくる学習活動を設定する。この中で歌唱の演奏形態である「独唱」「斉唱」「重唱」「合唱」による響きの違いを感じ取るとともに、旋律の特徴を生かした組合せ方を工夫してグループアンサンブルをつくることで、演奏形態とそれぞれのよさについて経験を通して理解することができると考え、本題材を設定した。

4 教材

「ロック マイ ソウル」(峯 陽 作詞 スピリチュアル 星野 光 編曲)

へ長調 4/4拍子 a・a'の一部形式

この曲は、作詞・作曲者不明の黒人霊歌で、日本では、小学校・小学生向けのレクリエーション・ソングとして定着している。また、NHK「みんなのうた」では、原曲とは別の日本語歌詞がつけられた『空をみあげて (おお!みんなで)』として1965年2月に初回放送された。

スピリチュアルとは、アメリカで民衆の中から生まれた宗教的性格をもった民衆歌謡である。単旋律のものと合唱のものがありブラック・スピリチュアル(黒人霊歌)・ホワイト・スピリチュアル(白人霊歌)・ゴスペルソング(福音賛美歌)などがある。「ロック マイ ソウル」は、ブラック・スピリチュアルだが、最近ではゴスペルソングとして歌われることが多い。

5 題材の評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能
題材の 評価規準	旋律の組合せによる響きの違いに興味・関心をもち、自分の知識や技能を活用して旋律の特徴を生かした組合せを工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一① 歌唱】	旋律の組合せによる響きの違いを感じ取っている。 【創一①歌唱】 旋律の組合せを生かしながら、曲の構成をどのようにするかについて、自分の思いや意図をもっている。 【創一②歌唱】	旋律の組合せによる響きの違いを生かして演奏している。 【技一①歌唱】

6 題材の指導計画（全4時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
	<ねらい>様々な演奏形態に親しみ、旋律の組合せによる響きの違いに興味・関心をもち。	
1	○旋律の組合せによる響きの知覚・感受 ・「ロックマイソウル」の演奏を映像で見て、感じたことを交流する。 ・旋律「ウ」旋律「イ」を斉唱したり独唱したりする。 ・旋律「ウ」旋律「イ」を合唱したり重唱したりする。 ・旋律「ア」を歌い、旋律「イ」や旋律「ウ」と重ねる。 ○振り返り ・聴いたり実際に演奏したりして、楽曲について気付いたことや、旋律の組合せについて考えたことをまとめる。	☆「ロックマイソウル」に人々がどのように親しんでいるのかを知るために、様々な場面で歌っている映像を見る場を設定する。 ☆グループ活動が円滑に進むように、音を取ることがやや難しい旋律「ウ」「イ」で合唱や重唱の知覚・感受の場を設定する。 ◆旋律の組合せによる響きの違いに興味・関心をもち、自分の知識や技能を活用して旋律の特徴を生かした組合せを工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一① 歌唱 演奏表現・学習カード】
	<ねらい>旋律の組合せによる響きの違いを知覚・感受する。	
2	○旋律の組合せの工夫 ・「ウ」「ウ」→「イ」「イ」→「ア」「ア」の斉唱をする。 ・歌いたい順に、1回ずつ反復しながら3つの旋律を重ねて合唱する。 ・グループで、作品づくりの手順と2時間の活動計画を考える。 ・グループで3つの旋律を斉唱する。 ・いろいろな旋律の組合せを試す。 ・それぞれの響きの違いについて、気付いたことや感じ取ったことについて、互いに交流する。	☆1回ずつ反復しながら次のフレーズに進行する形式に慣れるために、3つの旋律を反復しながら斉唱で歌う活動を設定する。 ☆見通しをもって主体的に学習することができるようにするために、既習の経験を踏まえて、どのように活動するのかをグループで考える場を設定する。 ☆互いの声を聴き合い、いろいろな旋律の組合せを試す時間を十分に確保することで、響きの違いに気付くことができるようにする。

	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の組合せによる響きの違いについて、自分の考えがグループ活動の中でどのように変容したのかを書く。 	<p>◆旋律の組合せによる響きの違いを感じ取っている。</p> <p>【創一①歌唱 演奏表現・学習カード】</p>
<p><ねらい>旋律の組合せを生かして、曲の構成を工夫する。</p>		
<p>3 本 時</p>	<p>○旋律の組合せの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロックマイソウル」の旋律アイウを、いろいろな組合せで斉唱したり合唱したりする。 ・作品の構成の仕方を確認する。 <p>○作品全体の構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、今日の活動の方法について共通理解をする。 ・自分たちが表現したい作品になるような「せんりつの組合せ」や「曲のかたち」になっているかどうか、歌いながら確認し、作品を構成する。 ・各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、声を合わせて歌う。 <p>・中間発表をする。</p> <p>・他のグループの旋律の組合せや曲の構成で参考になったことを交流する。</p> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動や中間発表を通して、考えたことをまとめる。 	<p>☆児童が自分で考えた旋律の組合せを提示し、それを全員で歌う活動を設定する。</p> <p>☆曲の構造が分かりやすくなるような教具を作成する。</p> <p>☆学習の見通しをもつことができるように、電子黒板に学習内容と学習活動を提示する。</p> <p>☆音楽の構造と曲想との関わりについて考えながら作品を構成するよう助言する。</p> <p>◆旋律の組合せを生かしながら、曲の構成をどのようにするかについて、自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創一②歌唱 演奏・学習カード】</p> <p>☆話合いや演奏の活動が充実していたグループの作品を聴いて、曲の構成のよさを生かした旋律の組合せになっているかどうかを交流する場を設定する</p> <p>☆「せんりつの組合せ」「曲のかたち」について、互いに聴き合うよう助言する。</p>
<p><ねらい>旋律の組合せや曲の構成と曲想との関わりについて考えながらグループで歌い、互いに交流する。</p>		
<p>4</p>	<p>○演奏形態のよさを生かした旋律の組合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、自分たちが表したい曲想の作品になっているかどうかを確認しながら、発表の準備をする。 ・演奏形態のよさを生かしながら、旋律の組合せによる響きの違いを生かして演奏する。 ・作品のよさについて交流する。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の組合せや曲の構成による曲想の違いや音楽表現のよさについて気付いたことや考えたことを踏まえて、「ロック マイソウル」についてまとめる。 	<p>☆第1時で見た映像資料を参考に、手拍子をしたり体を動かしながら歌ったりする等の表現を工夫しながら歌うよう助言する。</p> <p>◆旋律の組合せによる響きの違いを生かして演奏している。</p> <p>【技一①歌唱 演奏表現】</p>

7 本時の学習(3 / 4時間)

(1)ねらい 旋律の組合せを生かして、曲の構成を工夫する。

(2)学習の展開

○学習内容	・学習活動	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
<p>○旋律の組合せの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロックマイソウル」の旋律アイウを、いろいろな組合せで斉唱したり合唱したりする。 <p>○学習のめあての確認</p>	<p>☆児童が自分で考えた旋律の組合せを提示し、それを全員で歌う活動を設定する。</p> <p>☆曲の構造が分かりやすくなるような教具を作成する。</p> <p>☆学習の見通しをもつことができるように、電子黒板に学習内容と学習活動を提示する。</p>	
<p>せんりつの組合せを生かして 曲のかたちを工夫しよう。</p>		
<p>○作品の構成の仕方を知る。</p>	<p>☆音楽の構造と曲想との関わりについて考えながら作品を構成するよう助言する。</p>	
<p>・ 同じ旋律の組合せを反復した4種類のパターンでつくることを原則とする。</p> <p>・ 曲のかたちは、自分たちで考える。</p>	<p>◆旋律の組合せを生かしながら、曲の構成をどのようにするかについて、自分の思いや意図をもっている。【創一②歌唱 演奏・学習カード】</p>	
<p>○作品全体の構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、今日の活動の方法について共通理解をする。 ・自分たちが表現したい作品になるような「せんりつの組合せ」や「曲のかたち」になっているかどうか、歌いながら確認し、作品を構成する。 ・各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、声を合わせて歌う。 	<p>☆話し合いや演奏の活動が充実していたグループの作品を聴いて、曲の構成のよさを生かした旋律の組合せになっているかどうかを交流する場を設定する</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間発表をする。 ・他のグループの旋律の組合せや曲の構成で参考になったことを交流する。 	<p>☆「せんりつの組合せ」「えんそうのかたち」について、互いに聴き合うよう助言する。</p>	
<p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動や中間発表を通して、考えたことをまとめる。 		